

平成29年度第1回 青年の家跡地等整備推進会議 会議録

日時：平成29年7月14日(金)
 午後1時30分～午後3時45分
 場所：南畑公民館2階会議室

出欠状況

座長					
新井(幸)	吉川	吉野	新井(利)	千種	斉木
○	○	○	○	○	○
佐藤	青木	大塚	水口	斉藤	
○	○	○	○	○	
事務局	政策企画課（課長・副課長・担当）、協働推進課長、まちづくり推進課長、交通・管理課長、南畑公民館長 (株)オリエンタルコンサルタンツ				

内 容
1 開 会 ・鯉沼課長
2 あいさつ ・浅井副市長
3 推進会議について ・事務局から会議の形式（懇談）、目的、趣旨の説明
4 自己紹介 ・事務局と参加者の自己紹介
5 座長の選出について ・互選により、新井幸雄氏を座長に選出
6 意見交換（※進行は座長） (1) 青年の家跡地一帯の現況などについて ・資料1に基づき、事務局より説明 (2) 青年の家跡地一帯における課題などについて ・資料2に基づき、事務局より説明

○質疑

参加者：びん沼川沿いの道路に駐車禁止の規制はかけられていないと思われるが、過去に駐車禁止にしようという動きはあったのか。

事務局：その道路は、道路区域と河川区域をまたがって舗装されている箇所があり、多くは河川区域内に駐車している状況。駐車禁止の動きについてはなかったと思うが、駐車禁止は、最終的には警察の判断になる。

参加者：びん沼自然公園ができてから、タヌキ、キツネ、ハクビシン、犬、猫などが増えた。民家の敷地に侵入し、作物が荒らされている現状がある。びん沼川沿いの自然環境をどこまで保全するかは考えてほしい。

参加者：ハード面での整備だけでなく、運営のための参加者・協力者を広く募っていく必要があるのではないか。運営者がいないと成り立たないと思う。ソフト面の課題として認識しておく必要がある。

(3) 整備素案の考え方について

- ・資料3に基づき、事務局より説明
- ・他事例について、オリエンタルコンサルタンツより説明

○質疑

参加者：跡地一帯の整備とは、跡地自体はあまり整備せず、その周辺の整備をすることなのか。あるいは、跡地の整備によって周辺の整備内容が変わることか。

事務局：「跡地」と「周辺」は別々に考えるのではなく、両者を一体的に整備することを考えている。その中で、河川区域については川の国埼玉はつらつプロジェクトにも採択されているので、県の力も活用していきながら整備していく。県と市で役割分担し、事業を進めていく。

参加者：跡地に隣接するびん沼荘は築40年を経過している。跡地一帯での整備を考えたとき、びん沼荘も含めて一体的に検討してはどうか。河川区域内での整備を活かすためにも、びん沼荘を利用することを手段として検討する必要があるのではないか。市の見解を確認したい。

参加者：びん沼荘ではコミュニティ大学が活動している。新たな組織を立ち上げるのは難しいため、今ある組織を活かしてハードとソフト一体で考えていけば、より地域の活性化に繋がるのではないか。

参加者：原則河川区域内に強固な建物は建てられない。河川区域で整備できるものは、親水護岸や移動可能な施設など。法規制がある中で、地元からご提案をいただきながら配置計画を考えていくことになる。河川区域内で県が整備するもの、河川区域（自然公園）の中で市が整備するもの、跡地で市が整備するものというように、県と市で役割分担していくことになる。

参加者：河川区域内には何かしら整備できるという認識で良いか。

参加者：跡地北側の河川区域については、水辺に親しめる護岸整備が考えられるが、びん沼川の水質も踏まえて検討する必要がある。びん沼自然公園に隣接する

区域については自然を残しながら、ご提案いただく内容をどのようにあてはめるのが良いかを考えていくことになると思う。

参加者：びん沼自然公園が出来る際の図面を見ると、公園の境界まで水が入ってくる図面で、デッキなどから自然観察が出来るイメージだった。なぜ現状のようになっているのか。もっと親水の状態になれば、葦も成長しないし動物も生息できなくなるのではないか。

参加者：びん沼の整備前は、道路と同じくらいの高さであり、改修時に土を搬出し、今の高さになった。用地買収時に地元へ説明があったのは、荒川本流から新河岸川放水路を伝い、新伊佐島橋まで水を流すという話だった。

参加者：当時は計画通り整備したと思う。あえて調節池の容量を落とすような整備はしていないはず。

参加者：整備後に公園まで水が上がったのは1回くらいと思う。

参加者：柳がかなり生えてしまっている。

参加者：埼玉県生態系保護協会は、毎年葦を刈ってほしいとの提案を県へしている。

参加者：渡良瀬遊水地では葦を燃やしているという事例を聞いたことがある。

参加者：どのような整備計画であったかは、次回までに改めて川越県土整備事務所で調べて報告したい。また、前回葦を刈ってから5年ほど経過しており、予算要望を考えていきたい。

参加者：地元としても以前葦を刈ってほしいという要望をしている。

参加者：びん沼が今後どのような状態であるべきか、検討していく必要がある。

参加者：浚渫も視野に入れるのか。

参加者：どうあるべきかも川越県土整備事務所で調べ、確認したい。

参加者：現状デッキから見下ろせるのが葦だけでは何の魅力もない。良い雰囲気の水辺や散策路を整備することで、多くの市民が訪れるようになればいい。

参加者：そうなればゴミも捨てられなくなるだろう。

(4) スケジュールについて

- ・資料に基づき、事務局より説明

(5) 次回会議の日程について

- ・平成29年8月22日（火）13時30分から、富士見市役所内会議室を予定

○質疑

参加者：次回の会議は、図面的な素案が出されるイメージなのか。

事務局：本日出たご意見も踏まえ、複数のイメージ案をお示ししたいと考えている。

7 閉会

- ・鯉沼課長